

月寒九条の会

会報

2016年5月
No.13

月寒九条の会も構成団体となっている「ストップ『戦争法』豊平区民の会」は4月3日午後、月寒公民館で「戦争はイヤ！怒りを行動に市民大集会」を開催しました。集会には140名が参加し、集会后、会場から地下鉄福住駅までパレードを行い、戦争法の廃止と憲法擁護を市民に訴えました。

個人の上に国家を置く「戦争法」

集会では、明日の自由を守る若手弁護士会の川上麻里江弁護士が特別講演を行いました。川上氏は「戦争法の始まりは自民党の改憲草案にある。個人の尊重をうたった憲法第13条より、国家が大切と、個人の自由を制限し、個人を国に従わせる考えから来ている」と指摘。

また、「立憲主義とはだれが権力者になっても、横暴をゆるさないよう憲法によって権力者に縛りをかけるもの。しかし、自民党改憲案では逆に国民を縛るものとなっている。さらに安倍首相は憲法に緊急事態条項を盛り込み、時の政府が緊急事態を宣言すれば、勝手に法律を作れるようにしようとしている」と安倍



連絡先：野口 (852-9360)
加藤(852-2346)
e-mail:tsukisamu9@yahoo.co.jp
http://www.geocities.jp/tsukisamu9/

政権の危険性を強調しました。川上氏は、北海道5区の衆院補欠選挙についてもふれ、「国民の

5区情勢について報告

集会では、衆院5区補欠選挙の情勢について「市民の風北海道」共同代表の川原氏が報告。「民主党と共産党の合意ができたことにより、運動が一気に進んだ。相手候補を追い上げ、背中が見えてきた。しかしまだ4割の人が決まていない。無党派、無関心層の動向にかかっている。5区の知り合いにぜひ声をかけて欲しい」と訴えました。



川原氏

ママの会などからスピーチ

集会では、ママの会@北海道と新日本婦人の会からスピーチがありました。

ママの会では、「同世代が声をあげていくことが大切と、フェイスブックを中心にして子育て世代のママたちに情報発信している。今では2千人から5千人の方がフェイスブックを見てくれている。全国80のママの会ともつながっている」と運動がひろがっていることを紹介。活動についても「パレードは、従来の労組型のデモでなく、宣伝力やのぼりもなく、だれでも

上に国家を置く候補か、国民一人一人を大切にする候補かが問われている。戦争法は一人一人を大切にしないから出てきた。あきらめないで市民・公明の候補を押し返していこう」と訴えました。

気軽に参加できるよう配慮している」とし、「今まで政治に感心がなかったママたちも、保育の問題などを通し、当事者が声をあげなければ変わらない、自分も何かしたい、と変わってきている。」と語られました。そして、「みなさんの娘さん達にも、ママの会の運動に参加するよう声をかけてください」と訴えがなされました。

豊平の新日本婦人の会からは、保育園や新聞販売所などいろんな所を訪問し、戦争法廃止の統一署名をお願いします



ているとの報告がなされ、「四月末までにさらに署名を広げていきたい」としました。集会には、統一候補実現まで、日本共産党の5区補選予定候補として活動してきた橋本みかささん、日本共産党の池田ゆみ市議、市民ネットワークの石川佐和子市議からメッセージが寄せられました。集会后、参加者は会場から地下鉄福住駅までパレードを行い、戦争法の廃止と憲法擁護を市民に訴えました。

市民と野党の共闘 池田まきさん奮闘

4月24日投票が行われた衆院5区補欠選挙は、市民と野党の統一候補、池田まきさんが、自民・公明の和田候補に僅差にまで迫りましたが、惜敗しました。

5区補選は、町村議員の死去に伴うもので、当初、町村氏の跡を継ぐ和田氏の圧倒的優位が伝えられていましたが、「戦争させない北海道をつくる市民の会」と民主党、共産党の合意で、池田まきさんを統一候補として擁立することとなり、情勢が一変しました。

野党と市民の共闘に、自民党は危機感をいだき、安倍総裁は直々に自民党の地方議員に電話をかけた。野党側も、民進党や共産党の幹部が応援に駆けつけ、「市民連合」の山口二郎法政大教授など学者やジャーナリストも応援に駆けつけました。

選挙は、憲法を踏みにじり日本を戦争する国にする自民・公明対、平和

と立憲主義を守る市民と野党の対決となりました。

選挙結果は、惜敗となりましたが、厚別区と江別、北広島、石狩の3市では池田氏の得票が和田氏を上回りました。出口調査では、無党派層の7割が池田氏に投票したと答え、自衛隊駐屯地のある千歳市では、和田票は前回に比べ1700票あまり減りました。戦争法廃止の訴えが無党派層や自衛隊員にも浸透したものと見られます。

一般紙も、自民党は選挙では勝ったものの、「無党派層つかめず危機感」とか「補選の苦戦を反省し経済を前に」などと評論しています。市民と野党の共闘は、自民党に危機感を与えています。この共同の力をさらに進め、戦争法を進める自民・公明を追いつめましょう。



奮闘した池田まきさん

今年も、平和行進を歩きましょう

今年も平和行進の季節となりました。新日本婦人の会、生活と健康を守る会、月寒九条の会、福住九条の会などで構成する実行委員会が過日開催され、5月21日(土)午後1時、美園生協前集合で、地下鉄白石駅裏のやまびこ公園まで環状線を行進することとしました。コース、時間は昨年と同じです。

この行進は、礼文島から東京に向けて歩く国民平和行進(幹線コース)が21日に札幌入りするのに合わせて行われます。やまびこ公園では、幹線コースを迎えます。元気な方は、幹線コースに合流し、さらに中島公園まで歩きます。豊平コースは、30分ほどの短い行進です。気軽に参加ください。



南平岸駅前署名訴え

「豊平区民の会」では、3月9日午後、南平岸駅前、戦争法の廃止を求める2000万人統一署名に取り組みました。

平岸九条の会が毎月行っている九の日宣伝に合わせて行ったもので、月寒九条の会からも参加し、スーパーに入ります人や、地下鉄駅に向かう人々に署名を訴えました。3月にしては寒い日でしたが、21名と多くが参加、30分余りの署名行動で56筆の署名が集まりました。

